

## 2012.9.26 税関研修所

# 「「図解思考」を用いた 国際コミュニケーション力の向上」

図を使うと、難しい内容を分かりやすく相手に伝えることができることを実感しました。自分の中で曖昧だった関係性や重要性も整理できました。関税技術協力で外国人の方に何かを伝える際にも有効だと思いました。

形や矢印の大きさ太さを工夫することによって、重要なポイントがはっきりすることが、描いていて良く分かりました。公務員としての全体像までは描けても、その先の国民まで広げられなかったのが、これからはもっと広い視野を持つ必要があると改めて思いました。

図を描くことにより、業務改善にも繋がることが分かり大変参考になりました。

技術協力は日本の税関を途上国に教えることが多いので、ぜひ実践してみようと思います。語学が日本語ではないですが、図解を中心に挑戦してみようと思います。

図にすることで、自分自身の理解力が上がることは新鮮な発見でした。

具体的な説明で、実際の体験をもとにしたお話だったので、とても分かりやすかったです。今日この講義の機会から、仕事についての考え方が変わった気がします。

「具体的な数字」、「線の太さ」、「文字の大きさ」により、協調したい事項をより鑑的に説明できることが分かり、大変勉強になった。

図解を使用することで、最終的な目的(→国民サービスの向上)が分かり、今後の仕事に役立つと思う。税関の他の研修(管理者向け)も行っていきたい。

図解の重要さが良く分かりました。図解を理解できたあとの爽快感が何とも言えないものです。

図解するのは非常に頭を使うということが分かりました。今後、資料で幹部、上司に説明する機会が増えるので、図解をつかっていこうと思います。今日は「目からうろこ」でした。